

(公表事案①について)

中央市民病院事務局総務課 小林・櫻井 TEL: 078-302-4463

(公表事案②について)

西市民病院事務局医事課 重松・宮崎 TEL: 078-576-5251

(公表に関する指針について)

法人本部経営企画室総務課 藤原・伊藤 TEL: 078-940-0156

平成29年度(10~12月)神戸市民病院機構における医療事故

神戸市民病院機構における医療事故の公表に関する指針に該当する事案(医療側に過失が認められるレベルA以上の事案等)は以下のとおりです。

なお、公表に当たっては患者さん及びご家族が特定・識別されないよう、個人情報の保護に最大限の配慮を行いつつ、事案の内容について一定の範囲で公表を行っています。

神戸市民病院機構における医療事故の公表に関する指針は[こちら](#)をご覧ください。

レベル	H29.10~12月の件数
A	2
B	0
C	0

【公表事案①】

レベル: A

発生日月: 平成29年11月

発生場所: 神戸市立医療センター中央市民病院

発生状況と経緯:

患者(神戸市内在住、70歳代女性)に対し、昨年11月に白内障手術を実施した際、誤った度数の人工レンズを挿入してしまった。

対応・処置:

レンズの度数を間違えたことを謝罪し、正しいレンズに入れ替えた。

今後の対策:

手術をする前に検査結果の度数、手術指示簿に記載の度数と実際の挿入するレンズに間違いがない事を複数のスタッフで確認することを徹底した。

【公表事案②】

レベル：A

発生年月：平成 29 年 11 月

発生場所：神戸市立医療センター西市民病院

発生状況と経緯：

患者（神戸市内在住、50 歳代女性）に対し、腹腔鏡による子宮の全摘出、両側の卵管切除を行った。その際、右側に大きく張り出した子宮筋腫が子宮右側の血管処理の妨げになっていたため、筋腫の一部を先に切除し、続けて子宮全摘出手術を施行した。先に切除した子宮筋腫を子宮と同時に回収すべきであったが腹腔内に残したまま手術を終了してしまった。

対応・処置：

子宮筋腫を腹腔内に残したままであることを謝罪し、再度腹腔鏡により子宮筋腫の回収を行った。

今後の対策：

閉腹前に全員で回収忘れがないかを確認し、複数個取り出す時には看護師が個数のカウントと記載を行うこととした。